



# 緊急地震速報時の 対応行動レファレンスWebの開発



## Development of Reference Website for Proper Response to Earthquake Early Warning

はじめに：2007年10月から緊急地震速報の一般向け提供が開始された。現状では、一般市民の認知度があまり高くなく、緊急地震速報を受信した際の望ましい行動をイメージしにくいという課題がある。本研究では、市民に緊急地震速報受信時にとるべき対応を自らの問題として考えてもらう環境づくりの一環として、「緊急地震速報時の対応行動レファレンスWeb」の開発を試みた。最初の試みとして、大学キャンパス編と一般編の2種類のWebを用意し、これを体験してもらうことで教材の評価を行った。

### 1. 緊急地震速報とは？ EEW: Earthquake Early Warning

緊急地震速報とは、主要動の到達前に知らせる警報システムで2007年10月から一般提供が開始された

	直接的な効果	間接的な効果
+	緊急地震速報の意味や限界を理解した上で訓練を積み、これを有効活用し被害が軽減される	防災に対してより真剣に考えるきっかけとなり、この利用法を考えることで結果的に、防災の事前対策が推進する
-	理解不足や適切な対処法を知らないことで、パニックなどを起こし、災害状況が悪化する	緊急地震速報の一般配信により、市民が根拠なく安心し、防災対策を怠る

速報を受信した際の望ましい行動がイメージしにくい

利用者にどのように行動すべきか事前にイメージしてもらうことが重要である

### 対応行動レファレンスWebの開発

「自ら考えてもらう為の対応行動ヒント集」

状況に応じた適切な判断が出来るようになる

例

- 災害対応能力 up
- 防災の事前対策が推進

## 2. 研究の流れ

### 形式

- デジタル化 & 誰でもアクセスできるシステム
- クイズ形式...学習者に考えさせるため
- クイズ2段階(学習用 & おさらい用)...理解度の確認

### Web教材開発

クイズ作成のための下準備(材料収集)

クイズ作成

Web作成のための下準備(PowerPoint)

Web作成(インタラクティブStudy)

公開データ収集

### 効果検証

- データ収集期間 3/5 ~ 3/18 (2週間)
- 学習効果検証
- 学習者の思考考察

## 3. 学習すべき事項の整理

### 共通問題

- 発表条件・内容・技術的課題
- 直下型地震での猶予時間
- エレベーター内での対応行動
- 近くに火気がある場合
- 高度利用の発表内容
- 一般向け受信方法の特徴
- 事前対策の重要性
- 階段にいる場合の対応行動

### 大学編

- 図書室で本棚の間にいる場合
- 屋内プールで泳いでいる場合
- 階段で携帯電話にて受信
- 実験室で近くに薬品がある時
- 生協で棚の間にいる時
- 電車乗車中
- 更衣室で着替え中

### 一般編

- コンビニにいる場合
- 街中にいる場合
- 自動車運転中ラジオにて受信
- エスカレータ乗車中
- 家庭でテレビ受信
- デパート・映画館
- 繁華街・住宅街・食事中

## 4. Web学習の流れ

TOPページ (Web・回答方法) (説明)

個人属性質問

DEMO EEW説明

DEMO EEW音声

レファレンス

学習クイズ (20問)

解答・解説

採点

おさらいクイズ (7問)

採点

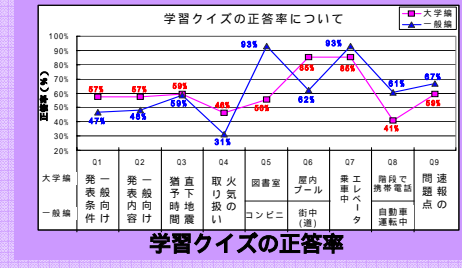
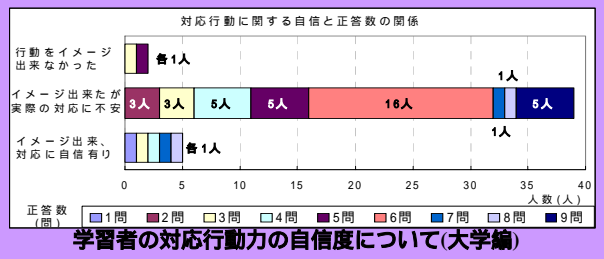
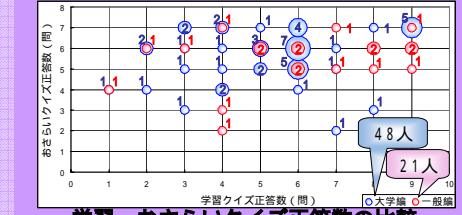
結果を比較して学習効果を見る

アンケート(選択式)

本Webサイトのアンケート(選択式)

回答者の属性質問 (年齢・職業等)

## 5. 効果検証



> 緊急地震速報の基本的な知識の認知度が低い

> 火気の取り扱いについて半数以上が誤解していた

> 学習クイズよりおさらいクイズの正答率が高く、学習効果があった

> アンケート結果によると、46人中44人が緊急地震速報を受信した際の行動をイメージ出来るようになったと答えているが、実際の対応行動に不安を感じている者が多いことがわかる

~今後の課題~

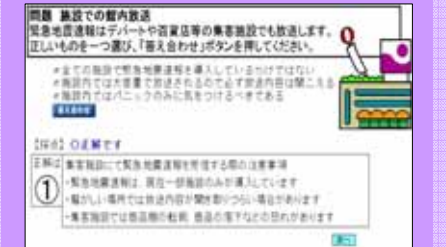
クイズの改良・多くの体験者による効果の検証



学習クイズ問題例



学習クイズ解答・解説例



おさらいクイズ例